

柏市の現状について

(第四次総合計画を振り返って)

平成 26 年 11 月 5 日

柏 市

①市民との協働

①これまでの取組の成果（現状分析）

柏市の強み	柏市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> ○除染作業等地域活動の活発化 ○首都圏・周辺市比較における自治会加入率の高さ ○高年齢層の地域活動・ボランティア活動参加意識の高さ ○「かしわ市民大学」による地域リーダーの育成 ○市政情報提供の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動への感心の低い若い世代の転出・入の多さ→地域のつながりの希薄化や地域力の低下の懸念 ○20～40代の地域活動・ボランティア活動の参加意識の低さ ○自治会加入率の低下傾向 ○ボランティアやNPO等との連携に関する市民の重要度意識の低さ ○男女共同参画社会の確立に関する市民の重要度意識の低さ

②今後の視点

基本施策名	内 容
◇市民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動やボランティア活動に対する関心は高まっており、柏市においても、参加意向は半数を超えていることから、市民参加拡大の機会と捉えて、地域活動や市民活動の支援をより充実することが必要と考えられます。 ○ただし、その参加意向について、経年変化を見ると横ばいであることから、参加団体等が限定されたりしていることも想定されますので、参加しやすい地域活動等を検討し、裾野の拡大が必要であると考えられます。
◇市政情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○「市政情報の提供」の満足度が高く、広報活動も充実している中、協働の機会確保などへの活用を検討することが必要であると考えられます。
◇地域コミュニティ活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○地域力の低下が懸念される一方、地域コミュニティの向上の必要性の認識も高まっています。そこで、自治体や市民活動団体の育成・支援を図りながら、地域コミュニティにおける人とのつながりを促進することが必要であると考えられます。
◇男女共同参画社会の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○「男女共同参画社会」に関しては、市民の関心が低い傾向が見られますが、女性が活躍できる場の提供などを検討することが必要であると考えられます。

②学習・交流

①これまでの取組の成果（現状分析）

柏市の強み	柏市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> ○（小・中学生の）基礎的知識・技能に関する理解力が全国平均と比較しておおむね良好 ○地域ぐるみの取組による子どもの安全確保・健全育成 ○大学と連携したまちづくりの推進 ○柏レイソルなどホームタウンチームの存在 ○アートラインかしわ等文化活動の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ○（小・中学生の）思考力・判断力・表現力が全国平均と比較してやや低い ○生徒に対する教員の割合の減少傾向 ○教育に関する柏市の取組について、経年変化で見て不満度が下がっているが、満足度についても同様に下がっている ○小中学校の学力向上の取組に関する市民満足度の低さ ○学校現場でのいじめ対策に関する市民満足度の低さ ○市内地域間の児童数・生徒数の格差 ○社会教育施設の老朽化

②今後の視点

基本施策名	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ◇生涯学習の推進 ◇文化の振興 ◇スポーツ・レクリエーション活動の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民は、文化・スポーツなどへの支援については、満足度が高い傾向にあるものの、今後も少子高齢化の進行などを踏まえ、市民がより豊かで生きがいにあふれた毎日を送ることができるよう、教育・文化・スポーツなどの活動支援に努める必要があると考えられます。 ○社会教育施設については、市民ニーズ等を踏まえながら、文化・スポーツなどの活動拠点として整備することが重要と考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ◇生きる力を育む学校教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力の向上や教育力の向上については、市民の関心も高く重要度が高いことから、教員の増員などによるきめ細かい教育を推進し、学力の向上や教育力の向上に努めることが重要と考えられます。 ○いじめについては、社会的な問題でもあり、市民の関心も高く重要度が増しているため、いじめ対策を引き続き推進することが重要と考えられます。 ○市内に大学が多く、まちづくりの幅広い分野で大学と地域及び大学間の協働を促進し、大学と地域社会がともに発展できる体制を構築しています。大学との連携を引き続き推進していくことは重要であると考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ◇地域に信頼される学校づくり ◇青少年の健全育成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年を取り巻く環境が大きく変化し、子どもや青少年の健全育成と安全確保、非行防止については、今後も引き続き地域ぐるみで進めていくことが重要と考えられます。

③ 活力・賑わい

①これまでの取組の成果（現状分析）

柏市の強み	柏市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> ○主要幹線道路・鉄道など交通の要衝となっている ○最先端産業のインキュベーター施設がある ○柏駅周辺の集客力の高さ ○小売業 1 事業所あたり年間商品販売額が極めて高い ○農産物の生産地であり消費地となっている ○大学・研究機関等が集積している ○景気動向指数，法人課税額の回復傾向 ○ショッピングセンター等大型開発の進展 ○失業率の低さ ○販売農家 1 戸あたりの農業算出額の高さ ○地産地消の推進に関する満足度の高さ 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域商店街の集客力低下，シャッター街化の懸念 ○事業所や従業者数，製造品出荷額等の減少 ○耕作放棄地の増加や農業就業人口の減少の懸念 ○地域商店街の活性化に関する市民満足度の低さ ○産学官連携による新産業創出支援に関する市民の重要度の低さ ○企業誘致や就労支援に関する市民満足度の低さ ○有効求人倍率の低さ ○正規雇用の減少傾向 ○観光情報の発信に関する市民の重要度の低さ

②今後の視点

基本施策名	内 容
◇市内事業者の事業環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○産業全般で企業の業況判断指数などが向上しているなど経済状況が好転しており，今後さらに市内事業者の経営基盤のより一層の強化が必要と考えられます。 ○地域商店街の活性化については，地域コミュニティの核としての役割もあることから，賑わいの創出への戦略的な取り組みや，魅力づくりに向けた支援が必要であると考えられます。
◇新事業の創出支援 ◇企業立地の促進と雇用環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の市の活力や雇用環境の改善のため，また，工業が縮小傾向にあるため，市内における新産業の創出や基盤技術産業などの育成，また企業誘致を進めることが必要と考えられます。
◇都市農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○後継者不足や農業就業者の減少などの課題については，都市農業としての特性を活かしながら，農業経営の基盤の強化や担い手育成が必要と考えられます。

④環境共生

①これまでの取組の成果（現状分析）

柏市の強み	柏市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> ○温室効果ガス排出量削減の推進 ○ごみ排出量の削減の推進 ○地域活性化総合特区及び環境未来都市として選定 ○先進的モデルケースとなっているスマートシティの取組 ○カンニワ制度など市民協働による環境保全の取り組み ○豊かな自然環境 ○リサイクルの取組の進展（市民意識の重要度の高さ及び満足度の高さ） ○ぽい捨てや路上禁煙など環境美化の取組に対する市民意識の重要度の高さ及び満足度の高さ ○都市公園の多さ 	<ul style="list-style-type: none"> ○低炭素社会構築に関する市民への浸透度の低さ ○都市公園が多いことによる維持管理の負担

②今後の視点

基本施策名	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ◇緑の保全と創出 ◇治水と親水空間の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○手賀沼や利根川など豊かな自然環境が多いので、今後も環境保全に努め、市の魅力向上を推進することが必要と考えられます。
◇より良い環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○柏の葉キャンパスにおける環境・エネルギー問題に対する先進的事例を推進し、情報発信を積極的に行うことが必要と考えられます。 ○低炭素社会の構築に向けては、市民への浸透度が低いと考えられるため、啓発と人材育成が必要と考えられます。
◇環境に優しい循環型社会を形成する	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ減量やリサイクルなどの資源循環型社会の構築に対する市民の意識が高いため、今後も市民との協働による自然環境の維持・管理の仕組みづくりなど、効率的に取り組むを進めることが必要と考えられます。

⑤健康・福祉

①これまでの取組の成果（現状分析）

柏市の強み	柏市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> ○全国比較で出生率が高い ○高齢者社会へ向けた地域医療体制の取組を進め、先進的モデルとなっている ○医療機関が多い ○医師数が多い ○大規模病院の存在 ○待機児童への取組 ○がんや生活習慣病の予防対策について市民満足度が高い ○全国・県内比較で呼吸器科・消化器科・外科の医師数が上回っている 	<ul style="list-style-type: none"> ○急速な高齢化予測（H32 に市民の 25%が高齢者、全国比較でも高い伸び率） ○高齢者単独世帯の増加傾向 ○入院患者数の増加、病床数不足の予想 ○全国・県内比較で小児科、小児外科・神経内科・循環器内科医師数が下回っている ○待機児童がいること ○育児支援体制について市民満足度が低い ○子供の居場所づくりの取組について市民満足度が低い ○福祉サービスの情報提供や相談体制について市民満足度が低い ○高齢者・障害者が地域で孤立しない体制について市民満足度が低い ○救急医療体制について満足度が低い

②今後の視点

基本施策名	内 容
◇子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世代の転入や共働き世帯の増加などにより保育ニーズが高く、保育所待機児童が多いことから、保育所の整備・拡充の他、女性の働きやすい職場環境の整備等の施策が必要と考えられます。 ○小児科などが少ないことから、小児医療のさらなる充実が必要と考えられます。
◇健康づくりの推進 ◇高齢者を支える体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化が急速に進行することが予測されるため、高齢者を中心とした健康づくりによる「健康寿命」の延伸を図ることが重要と考えられます。 ○「健康・福祉部分」全般において市民の満足度が低いため、多様な福祉ニーズに対応する総合相談体制の充実や、健康づくりの取り組みや周知・啓発への取り組みも必要と考えられます。
◇医療体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○医師数、病床数は多いが、今後医療需要が急激に増える可能性が高いので、医師数や病床数の確保や、地域医療・在宅医療体制、救急医療体制の拡充などによる医療体制の強化が重要と考えられます。

⑥定住促進

①これまでの取組の成果（現状分析）

柏市の強み	柏市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> ○交通網の充実 ○下水道の普及率が高い ○着工新設住宅数が多い ○火災発生件数が少ない ○周辺市と比較して消防職員数が多い ○消防・救急体制に関する市民満足度の高さ ○都市公園が多い（※環境分野に重複） 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通渋滞 ○道路・下水道施設等公共施設の老朽化 ○雨水整備計画延長に対する整備率が低い ○刑法犯認知件数が多い ○通学路や生活道路への不満 ○交通安全・防犯体制に関する市民満足度の低さ ○災害時のための防災体制に関する市民満足度の低さ ○柏駅前の防犯体制に関する市民満足度の低さ ○浸水対策に対する市民満足度の低さ，重要度の低さ ○交通機関・公共施設のバリアフリー化に関する市民満足度の低さ ○自転車の利用環境に関する市民満足度の低さ

②今後の視点

基本施策名	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ◇住宅・住環境の整備 ◇上水道の整備拡充 ◇下水道の普及促進 ◇道路網の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通の要衝であり，交通渋滞が大きな課題となっていることにより，渋滞解消に向けた取り組みが必要と考えられます。 ○公共施設の老朽化の対応として，長寿命化を図ることや施設のあり方を検討し，施設整備を計画的に推進することが必要と考えられます。 ○近年，ゲリラ豪雨が多発していることから，市内の浸水地域への対応が必要と考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ◇防災・危機管理対策の推進 ◇交通安全・防犯体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災や社会不安を増大させる事件等が増加していることなどを背景に，「防災体制の強化」や「交通安全・防犯体制の強化」について市民の重要度は高い一方で満足度は低くなっており，また，刑法犯認知件数が多い状況などから，市民との協働による生活環境の安全・安心の充実が必要と考えられます。

⑦ 自立都市実現を目指して(行財政分野)

①これまでの取組の成果（現状分析）

柏市の強み	柏市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> ○財政健全化の進展 ○中核市の権限を活かした行政運営 ○類似都市と比較して高い財政力指数 ○納税義務者1人あたりの課税対象所得の高さ ○法人1社あたりの課税額の増加傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少・少子高齢化 ○人口が急増した昭和40年代から50年代に整備された公共施設等インフラの老朽化 ○緩やかな市税収入の減少 ○扶助費等義務的経費の増加 ○財政の硬直化 ○課税法人数の減少傾向 ○市政への関心の低下

②今後の視点

基本施策名	内 容
◇健全な財政運営と行財政改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○財政運営では、全国的に厳しい財政状況が続いていますので、今後も限りある財源の効率的・効果的な活用や新たな財源の確保が重要と考えられます。 ○行政運営では、地方分権の進展を踏まえ、さらなる行財政改革を進め、効率的な行政システムの確立と適正な運営が重要と考えられます。
◇シティプロモーションによる柏市のイメージの確立	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の資源を活かして市が持つ様々な魅力を市内外に発信し、柏市のイメージを確立させることが重要であると考えられます。